

清水遺跡

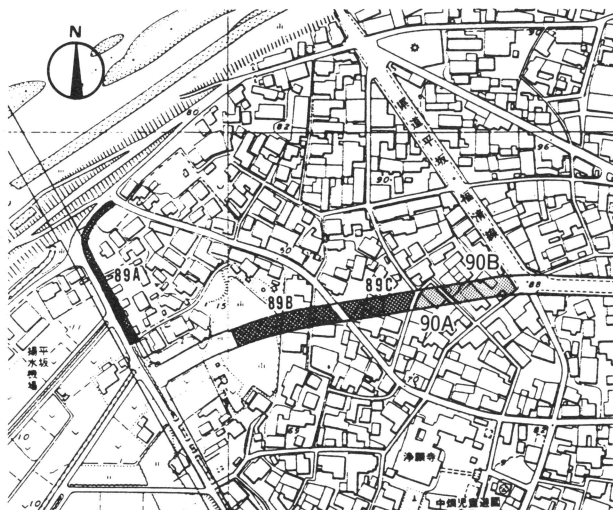
清水遺跡は、愛知県西尾市中畑町清水地内に所在する。県営中畑橋橋梁整備事業に伴う事前調査として、平成元年度より発掘調査を実施している。本年度は、矢作川左岸の標高約7mを測る碧海台地（洪積台地）縁辺部880㎡を調査対象範囲として、90A・Bの2調査区を設定した（第1図）。

調査の結果、90A区では、戦国時代から近世にかけての土取

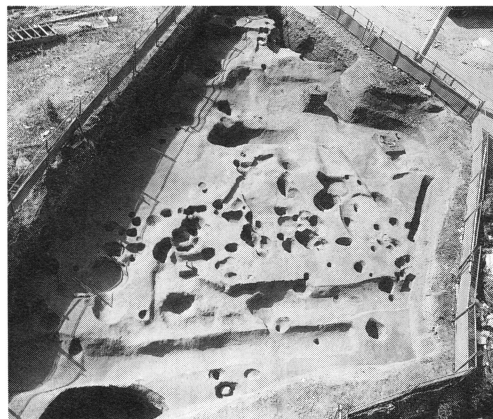
り土坑と思しき大型土坑（深さ1.5～2m）3基を始めとして、近世の土坑・溝・その他を検出している。また、土坑・溝の一部には、アサリ・ハマグリを主体とし、他にカキ等から成る貝層の堆積を認めた。遺物としては、瀬戸・美濃、常滑、伊万里などの中・近世陶磁器、土師質煮沸器（土鍋・土釜）、土錘、寛永通宝、キセル等の出土がある。

90B区は、全般的に遺構の分布密度が希薄であり、調査区西端で近世陶器を包含する深さ約1mの貝層の落ち込みが認められた他には、近世末から近代の土坑を検出したにとどまった。

（尾野善裕）



第1図 調査区位置図（1/5000）



90A区全景（東から）



A区天目茶碗出土状態